

第1弾は独自のルールをトレースする

「Tracers S&P500ゴールドプラス」「Tracers グローバル2倍株(地球コンプリート)」

商品開発部長の有賀潤一郎氏に聞く

日興アセットマネジメントは、独創的なパッシブ(非アクティブ)ファンドの新シリーズ「Tracers(トレイサーズ)」を立ち上げた。8月31日に、シリーズ第一弾ファンドとなる、追加型投信「Tracers S&P500ゴールドプラス」を設定、運用を開始した。また、昨年12月に設定済みの追加型投信「グローバル2倍株ファンド(地球コンプリート)」の信託報酬を引き下げ、名称を「Tracers グローバル2倍株(地球コンプリート)」に変更して、Tracersシリーズに加えた。この新シリーズの立ち上げの背景やコンセプト、2つのファンドの特徴や魅力などについて、同ファンドの商品開発者であり、商品開発部長の有賀潤一郎氏に聞いた。



「分散した上での」のレバレッジ型ファンド

■シリーズ設立の趣旨

Tracers(トレイサーズ)は、今までになかった新しいアイデアをファンドの設計に採り入れて、事前に定めたルール通りに運用する、日興アセットマネジメントの新しいファンドシリーズである。今までなかったファンドを世の中に送り出すことで、`確かに！言われてみればこんなの欲しかった、と、思っただけのような独創的なファンドの開発を目指して立ち上げた。

Tracersというシリーズ名は、Trace(トレース)一なぞるという英語に由来する。Tracersにラインアップされる商品は、「パッシブファンド」といわれるタイプのファンドだ。パッシブファンドは、指数をなぞる運用、つまり指数に連動する「インデックスファンド」と、当社が事前に決めた独自のルールになぞって運用する「ルールベースファンド」に大別される。「パッシブファンド」は、ベンチマークを上回る投資成果を目指してファンドマネジャーが投資判断を行なう「アクティブファンド」とは対照的に、「指数」や「独自のルール」という事前に定めたルールに沿って(つまりトレースして)運用されるファンドである。ルールベース運用の考え方を取り入れ、より柔軟で、魅力的なファンドをデザインしていくのがTracersシリーズのコンセプトだ。

日興アセットでは今までも、独自に定めたルールに沿って運用する投資信託を開発してきた。先駆けとなったのが、2003年に設定した「財産3分法ファンド」だ。「不動産」「債券」「株式」の3つの資産にあらかじめ定めた資産配分で分散投資するというルールを取り入れた。18年には、レバレッジを

取り入れた「グローバル3倍3分法ファンド」を開発した。世界の株式、REIT(不動産投信)、債券の3つの資産に、先物を活用して総資産の3倍相当額を、決められた資産配分で分散投資するルールを取り入れた商品だ。いずれも、長期で資産形成をする上での分散と投資効率を追求して、開発したファンドだ。理にかなった設計を柔軟な発想で考えていくと、商品開発の選択肢は無限に広がる。

■ネット投資家向け、ノーロード・低コストファンド

ネット専用ノーロードファンドであることも、Tracersシリーズの特徴の一つである。コストに敏感なネット投資家向けであることから、信託報酬も低く抑える工夫をこらした。「Tracers S&P500ゴールドプラス」では年率0.1991%(税込)。また、「Tracers グローバル2倍株(地球コンプリート)」はTracersシリーズへ追加する際に、これまでの0.3993%から0.1991%(いずれも税込)に引き下げた。

オンライン証券などのネットチャネルで、自分で商品を選び、投資をするのは比較的若い世代に多いといわれる。老後に向けてネット取引で積極的に資産運用に取り組んでいる人が多いと感じている。Tracersのようなネット専用の低コスト商品で、長期投資に取り組みたいと考えている皆さんに、`こんなの欲しかった、と、思っただけのような商品を目指したい。

■「分散した上での」レバレッジが重要

Tracersシリーズの第一弾として、2本のファンドをラインアップした。ともにルールベースファンドであり、レバレッジ型ファンドである。

日興アセットでは、「分散した上でのレバレッジ」が重要であると考えている。単一の資産にレバレッジをかけることが悪いというわけではないが、単一資産の2倍よりは異なる資産に広くリスク分散した上でレバレッジをかける方が有効だといえる。特に、時間はある(＝投資期間はある)が、手元の資金が潤沢ではない投資家、つまり、老後に向けてこれから積極的に資産形成をしていきたい若年層投資家に適していると考えている。

手元の投資資金の少ない若いうちこそ、レバレッジをかけて資金効率を高める運用が有効だ。一定のリスクを積極的に取ることになるが、ここで重要なのが、レバレッジをかける前のポートフォリオにおいてしっかり資産分散を図りリスクを適切に抑制することだ。そして、ある程度の年齢を重ねて手元の資金や投資資金が潤沢になってきたステージでは、レバレッジをかけた投資を少しずつ落としていけば、一生涯にわたって取るリスク量を平準化させることができる。ひいては投資を行なう全期間を通じてのリスクの総量を多くとることができ、投資効率が高まると考えている。

こうした考えのもと、「Tracers S&P500ゴールドプラス」では株式と金という異なる資産に分散、「Tracers グローバル2倍株(地球コンプリート)」では世界各国の株式に徹底分散した上で、レバレッジをかけている。

両ファンドとも、1万円の投資でも2万円の投資と同じ効果を期待するという、先物を活用した投信ならではのファンドだ。いずれも信託報酬は0.181%(税抜)と、実質的に2倍の投資効果が得られる投資をしていることを勘案すれば、比較的低コストと感じていただけたと考えている。